

大阪府高等学校生物教育研究会協力会総会が開催されました

元号が令和に代わってちょうど1か月目の5月31日(金)の午後、大阪市立自然史博物館の集会室にて、大阪府高等学校生物教育研究会の総会および講演会が行われ、それに続く形で大阪府高等学校生物教育研究会協力会の総会も行われました。協力会総会の式次第は、以下の通りです。

1. 挨拶
2. 2018年度行事報告・会計決算
3. 2019年度行事計画・会計予算
4. 役員改選・事務局移転・会則の改定
5. 新役員紹介、挨拶
6. 閉会の辞

牧野修司副会長の司会のもと、まず中野勝久会長のご挨拶があり、事務局長の辻本昭信先生による2018年度行事報告および会計決算が行われました。

次いで、2019年度行事計画・会計予算については、役員改選につき新役員で計画・作成する旨の報告が辻本先生より行われました。

さらに、中野会長および牧野副会長から、役員の交代等が発議され、別記の通りの役員が承認され、新事務局長の北浦隆生先生から就任のご挨拶がありました。

最後に賛助会員代表で大阪府高等学校生物教育研究会会長の寺岡正裕先生から閉会のあいさつを兼ねて日本生物教育会全国大会に向けた協力の要請もあり、総会を終えました。

また、総会時に今年度の研究会に対する助成金10万円を研究会に贈呈しました。



協力会の新役員と新事務局

これまで協力会を引っ張ってきていただいた中野俊勝会長、牧野修司副会長、辻本昭信事務局長、松本 弘会計監査の各先生がそろってご退任となりました。上述のように今回の協力会総会で新役員と新事務局が承認されました。7月29日には役員会が行われ、下記の役割分担が決まりました。

会長には元研究会会長の大島みどり先生が、副会長には元研究会副会長の井上慎一先生が着任されました。役員の交代にあたり、完全リタイアとなっていない者が入らせていただく形になりました。特に事務局の部分で不手際も多々あるとは思いますが、全員可能な範囲で精いっぱい務めさせていただきますので、これからも研究会の活動を支援し続けられるよう、どうかご協力よろしくお願ひします。

- ・会長……大島みどり
- ・副会長……井上慎一
- ・幹事……北浦隆生, 中井一郎, 橘 淳治
- ・賛助会員代表……寺岡正裕 (研究会会長), 柴原信彦 (研究会副会長)
- ・事務局 (事務局長…北浦隆生, 会計…中井一郎, 会計監査…橘 淳治)

協力会新会長のご挨拶

大島 みどり

この度、大阪府生物教育研究会協力会の会長を務めさせて頂く事になりました大島でございます。

初代江藤会長、二代中野会長をはじめ、多くの役員・事務局のみなさんが「生物教育研究会の危機」を救うべく、全国に例のない「協力会」という形をつくり、守って来られました。更に中野会長には、2期6年を務めあげていただきました。本当にありがとうございました。



<中央が大島会長>

私は、支援学校（当時養護学校）に異動しました時に、学校としての参加がかなわず、「個人会員」の形を作っていたが、細々と会員を続けさせていただいていましたが、図らずも会長の重責をお受けする事になり、今回また協力会会長をお受けする事になりました。

限りなく頼りない会長ではございますが、生物教育研究会への思いはどなたにも負けないつもりです。若い皆様方の活動をバックアップさせていただきます！ 副会長・事務局は最強のメンバーで固めていただきました。事務局は完全リタイアなさっていない方々ですので、現役との情報共有も万全です。

2021年の全国大会へ向けても出来る限りのバックアップをしていきましょう！

皆さまよろしく願いいたします。

研究会総会後の記念講演会

『川虫、人間社会とのつながり』

谷田 一三 先生

研究会総会と協力会総会の際に、記念講演会が行われました。今年の講演会では大阪府立大学名誉教授で大阪市立自然史博物館前館長の谷田一三先生から、上記の表題で講演をしていただきました。私



たち協力会の会員が若いころ大変著名であった水生昆虫学・汚水生物学の泰斗、津田松苗先生の話から始まって、指標生物、環境モニタリングの手法や考え方の変遷、欧米と日本のスタンスの違い、今後の展望などにも話が及び、さらにご専門でもあるトビケラ類のヒゲナガカワトビケラの生態から、その生態的汚水浄化機能までの研究の一端をご紹介されました。参加者数はそれほど多くなかったのは少し残念ではありましたが、たいへん興味深いお話を伺うことができました。（文責：中井一郎）

諸連絡

- ・本協力会の活動にご賛同いただき、昨年度の会費納入者の正会員、賛助会員で研究会総会・協力会総会にご欠席の皆様方には、本誌とともに研究会の70周年記念誌（会誌）を同封しました。両総会にご出席の正会員、賛助会員の皆様には本誌のみを送付させていただいています。なお、研究会70周年記念会誌の116・117ページには昨年度までの協力会の活動について報告させていただいております。
- ・正会員・賛助会員の方の中で、今年度の会費をお送りいただいている方の中には、振込用紙を同封させていただきました。万一行き違いとなりました場合は、ご容赦ください。正会員の会費は年額3,000円、賛助会員の会費は年額2,000円です。金額は一つの目安とお考え下さい。
- ・また、近年定年ご退職を迎えられ、協力会の案内などが未達の可能性のある先生方にも送らせていただいております。もし可能でしたら、後輩の支援の意味で会費の納入をお考え下さい。

これからも協力会とともに

大阪府高等学校生物教育研究会会長 寺岡正裕先生

協力会発足 11 年目、おめでとうございます。新たな事務局体制の協力会が春の総会後に発足いたしました。協力会があったからこそ、研究会の経済的危機を乗り越えることができました。これまで協力会を運営してきていただいた先輩方に感謝申し上げます。



研究会会長として 4 年目です。そういえば協力会が発足した平成 21 年（2009 年）の夏に体調崩し、闘病生活を余儀なくされ、ご心配をおかけしましたが、現在は農芸高校校長として牛や豚とたわむれ、畜舎や畑で生徒たちと談笑し、休みの日は月に一度のゴルフなどたしなみ、元気でやっております。

さて、我々が研究会の一員として生物の面白さを大阪の生物教員だけでなく、全国の先生方に発信し続けてこれたのは、研究会で活動・活躍されてきた先輩教員からの熱い思い、それに応えようとする現役委員の熱き心、おもしろいことやったらみんなでも共有しようやという大阪人独特のサービス精神いっばいのメンバーたちだからこそ、無給で勤務時間外に自分の時間をたくさん使ってやってこれたのだと思います。

3 年後の夏に日本生物教育会全国大会を大阪で開催いたします。若い委員が中心で頑張っていきますが、後ろで協力会の先輩方が物心両面で支えていただきますとより勇気もらって頑張ることができません。今後も協力会と研究会が一体となって発展し、生物教育の面白さを発信し続ける会でありたいと思います。今後ともよろしくお祈りいたします。

協力会のロゴを検討しております

協力会も新体制となり、役員会で、協力会のロゴを考える話が出ました。現在検討中の案は右図のものです。まず、協力会の正式名称を「傘連判状」のイメージ円形に配置しました。会員に上下も先輩・後輩の別なく、みんなが対等の関係にあることを表します。また、その中央にはシルエットでニホンヤモリを描いています。生物研究会は私たちにとって「我が家」であり、それを守る「家守」のはたらきをするのだという私たち協力会の気持ちを表しています。ぜひご意見をいただければと思っております。



会費納入用紙に書かれた近況等を紹介します（順不同・敬称略）

- ・ご多用の中、長年事務局を担当いただきありがとうございました。（福坂邦男）
- ・少しでも多く教育現場に還元できるよう希望します。（渡邊勉治郎）
- ・協力会だよりありがとうございます。懐かしく拝読いたしております。（今安達也）
- ・協力会だより 楽しみに拝見しています。（古久保俊子）
- ・季節の変化を楽しんでいます。（奥野嘉彦）
- ・いつもお世話になり有難うございます。ゴールが見えましたので、やれやれです。よろしくお祈りします（中野俊勝）
- ・研究会のますますの発展をお祈りします。（安井博司）
- ・2019 年 3 月末で再任用教諭も退職し、4 月からは週 2 日の非常勤講師(泉北高校)と週 1~2 回は大阪自然環境保全協会の事務局で 10~19 時まで仕事をしています。また、2019~20 はタンポポ調査の年で、西日本実行委員会の事務局長として活動しています。（木村 進）
- ・元気にしております。（佐々木洋一）
- ・昨年はすっかり忘れてしまいました総会に、今年はお出かけるつもりでおります。（平岡誠志）

【資料1】 2019年度『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員（敬称略）

<正会員>（記載順はあいうえお順）

足立 堯* 石崎 英男* 井上 慎一* 今安 達也* 江坂 高志* 大江 進*
大島 みどり* 奥野 嘉彦* 奥本 隆* 小畑 和人* 萱村 善彦* 北浦 隆生*
木村 進* 河野 成孝* 佐々木 洋一* 杉山 友重* 澄川 冬彦* 竹林 隆昭*
橘 淳治* 田中 正視* 辻本 昭信* 富田 織江 中井 一郎* 中野 俊勝*
平岡 誠志* 廣瀬 祐司* 福坂 邦男* 古久保 俊子* 牧野 修司* 松田 仁志*
松本 弘* 安井 博司* 山住 一郎* 吉川 浩* 和佐 眞宏* 渡邊 勉治郎*

（以上 36 名）

<賛助会員>

寺岡 正裕* 柴原 信彦* 幸川 由美子* 長尾 祐司*

（以上 4 名）

正会員・賛助会員のうち*は 2019 年の会費を納入済みの方を示す（8 月 25 日現在）

<元会員>

浅野 素雄 山田 惇 山田 孝子 寺井 見一 原田 彰 三木 正士
折井 亮夫 西河 巖 中村 武男 柿迫 修 吉村 烈 江藤 昌晴
中根 将行

<物故会員>

佐古 廣衛 原本 哲也 多々 浩爾 中原 圓 平賀 正男 梶村 重次

令和元(2019)年予算案（新事務局で急遽作成した暫定案で総会の了承は得ていません）

収入の部	昨年度よりの繰越金	184,124 円	支出の部	研究会への助成金	100,000 円
	会費（正会員 35 名）	105,000 円		振込手数料*1	8,000 円
	会費（賛助会員 5 名）	10,000 円		郵送料	14,000 円
				行事費*2	10,000 円
				予備費	157,124 円
	合 計	289,124 円		合 計	289,124 円

*1：会費振込に伴う口座徴収料金および振込用紙作成料

*2：予算計上はしていますが、現時点で今年度の協力会行事は設定されておりません

11 月 23 日(祝)に、例年通り研究会と大阪市立自然史博物館共催の**生徒生物研究発表会**が大阪市立自然史博物館講堂にて行われます。開始時刻は 9 時 30 分です。職員通用門から「研究会の者です」といって入っていただければ無料で入場できますので、興味がおありでしたらぜひご参加ください。

事務局へのお問い合わせは、追手門学院大手前高等学校(06-6942-2235)北浦・中井または、北浦隆生(586-0007 河内長野市松ヶ丘東町 1349-1) 中井一郎(545-0001 阿倍野区天王寺町北 3-4-15)までご連絡ください。